平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名　理研ビタミン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4526　URL　http://www.rikenvitamin.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 堺　美保
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長　(氏名) 山下　隆　TEL 03-5275-5111

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日　配当支払開始予定日　平成25年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,084	11.2	2,375	50.9	2,528	60.9	1,633	93.0
25年3月期第2四半期	36,948	1.0	1,574	12.6	1,571	5.7	846	7.6

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　3,721百万円　(312.4%)　25年3月期第2四半期　902百万円　(36.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	73.88	―
25年3月期第2四半期	37.36	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	99,265	64,048	64.0
25年3月期	94,257	60,728	63.9

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　63,506百万円　25年3月期　60,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	18.00	―	18.00	36.00
26年3月期	―	20.00			
26年3月期(予想)			―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,500	10.2	4,700	30.5	4,800	28.3	2,800	16.3	126.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	23,652,550 株	25年3月期	23,652,550 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,539,967 株	25年3月期	1,539,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	22,112,659 株	25年3月期2Q	22,660,218 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済政策への期待感や日本銀行の量的金融緩和の効果等を背景に、株式市場の活況および為替動向もあって、底堅い動きを見せつつも、電力料金や原材料価格の上昇などの懸念材料もあり、本格的な回復までには未だ予断を許さない状況で推移いたしました。一方、海外経済は、未だ下振れリスクを抱える欧州地域、景気減速感の見られる新興諸国の状況に加え、米国の財政問題も相俟って、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、持続的成長を果たすべく、
◇中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力向上
◇海外事業を成長エンジンと見据えた運営（開発・生産・販売）の強化
を基本に据えて、昨年４月より取り組みを開始した「中期３ヵ年経営計画」の２年度目における諸施策展開に注力いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、震災影響からの脱却を図るべく取り組み強化を図った「海藻商品」の実績化に加え、「ドレッシング」、「食品用改良剤」、「化成品用改良剤」といった主力商品群が堅調に推移し、また、海外事業の回復・伸長もあって、売上高は410億84百万円（前年同期比41億35百万円、11.2%増）となりました。
利益面でも、売上増に伴う収益増加に加え、コスト管理の徹底効果もあり、営業利益は23億75百万円（前年同期比8億1百万円、50.9%増）、経常利益は25億28百万円（前年同期比9億56百万円、60.9%増）、四半期純利益は16億33百万円（前年同期比7億87百万円、93.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

〔国内食品事業〕
『家庭用食品』では、ノンオイル「青じそ」、「くせになるうま塩」をはじめとする市販ドレッシングの着実な実績化により、売上は前年同期を上回りました。震災からの完全回復を目指す海藻商品につきましては、『家庭用食品』での、こだわりの逸品からお手頃価格までの幅広い品揃えの「ふえるわかめちゃん」シリーズアイテムの新たな市場導入、および岩手県大船渡市に改めて立ち上げた工場で生産される「冷凍海藻」の『業務用食品』分野での販売等の寄与もあり、売上は前年同期を上回りました。また、「本かつお」、「こんぶ」をはじめとする素材力だしについても販売促進策が奏功し、実績伸長に繋がりました。
『加工食品用原料等』でも、ユーザーニーズに的確に対応した結果、食品用改良剤・健康機能食品・食品向けビタミン等の売上が堅調に推移し、前年同期を上回りました。
この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から13億94百万円（5.1%）増加した285億54百万円となり、営業利益は19億20百万円（前年同期比3億69百万円増）となりました。

〔国内化成品その他事業〕
『化成品（改良剤）』では、建築資材（滑剤）および食品用ラップ（防曇剤）向けが堅調に推移いたしました。また、農業用フィルム（防曇剤）および昨年エコカー補助金需要があった自動車部品向けはその反動もあり、期前半において低調に推移したものの、期後半には復調の兆しが見受けられるようになりました。

また、『その他』の事業では、飼料用油脂が、前年同期並みの実績で推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から82百万円（2.9%）増加した29億45百万円となり、営業利益は2億57百万円（前年同期比68百万円増）を確保することができました。

〔海外事業〕
「改良剤」分野において、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕はもとより、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に取り組んだ結果、確実な実績化を図ることができました。また、前年同期、欧州向け水産加工品が高いウエイトを占める青島福生食品有限公司（中国）の売上が、その厳しい市場環境の影響を受けて大きく落ち込みましたが、その後、回復基調に転じ、当第２四半期連結累計期間においても前年同期を大きく上回ることができました。
この結果、当セグメントの売上高は、為替変動（円安基調）の影響もあり、前年同期から27億72百万円（38.2%）増加した100億29百万円となり、営業利益は3億51百万円（前年同期比2億48百万円増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は992億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億8百万円増加しました。主な増加はたな卸資産24億38百万円、有形固定資産16億91百万円、投資有価証券16億41百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金12億96百万円、現金及び預金1億5百万円であります。

負債は352億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億88百万円増加しました。主な増加は短期借入金29億18百万円、長期借入金9億85百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金25億7百万円、未払法人税等1億26百万円であります。

純資産は640億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億19百万円増加しました。利益剰余金が、四半期純利益の計上16億33百万円、配当金の支払3億98百万円により12億35百万円増加しました。また、その他有価証券評価差額金が10億11百万円、為替変動（円安基調）の影響で為替換算調整勘定が10億88百万円それぞれ増加しています。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年４月25日発表の通期業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要がある場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項は有りません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項は有りません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,869	12,764
受取手形及び売掛金	21,292	19,996
有価証券	1,009	816
商品及び製品	5,406	6,185
仕掛品	4,060	4,145
原材料及び貯蔵品	7,036	8,610
その他	2,178	2,883
貸倒引当金	△12	△2
流動資産合計	53,840	55,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,941	11,995
機械装置及び運搬具（純額）	7,877	8,141
その他（純額）	5,178	6,551
有形固定資産合計	24,997	26,688
無形固定資産	840	957
投資その他の資産		
投資有価証券	13,431	15,072
その他	1,164	1,160
貸倒引当金	△17	△13
投資その他の資産合計	14,578	16,219
固定資産合計	40,416	43,866
資産合計	94,257	99,265

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,355	7,848
短期借入金	10,305	13,224
未払法人税等	1,003	877
引当金	815	907
その他	5,592	5,248
流動負債合計	28,073	28,106
固定負債		
長期借入金	148	1,133
退職給付引当金	1,936	1,991
その他	3,370	3,985
固定負債合計	5,455	7,110
負債合計	33,528	35,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,537	2,537
資本剰余金	2,466	2,466
利益剰余金	53,906	55,142
自己株式	△3,745	△3,745
株主資本合計	55,165	56,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,807	5,818
繰延ヘッジ損益	18	△11
為替換算調整勘定	210	1,298
その他の包括利益累計額合計	5,036	7,105
少数株主持分	526	541
純資産合計	60,728	64,048
負債純資産合計	94,257	99,265

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	36,948	41,084
売上原価	25,916	28,934
売上総利益	11,031	12,150
販売費及び一般管理費	9,457	9,774
営業利益	1,574	2,375
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	147	168
その他	77	197
営業外収益合計	242	382
営業外費用		
支払利息	167	217
その他	78	12
営業外費用合計	245	229
経常利益	1,571	2,528
特別利益		
投資有価証券売却益	20	2
受取保険金	－	84
補助金収入	369	397
その他	6	1
特別利益合計	396	485
特別損失		
固定資産除却損	29	61
固定資産圧縮損	317	385
減損損失	51	－
投資有価証券評価損	125	－
その他	22	7
特別損失合計	546	454
税金等調整前四半期純利益	1,421	2,559
法人税等	566	914
少数株主損益調整前四半期純利益	854	1,645
少数株主利益	7	11
四半期純利益	846	1,633

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	854	1,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	1,011
繰延ヘッジ損益	△1	△32
為替換算調整勘定	△114	1,097
その他の包括利益合計	47	2,076
四半期包括利益	902	3,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	908	3,703
少数株主に係る四半期包括利益	△6	18

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項は有りません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項は有りません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,154	2,862	6,931	36,948	－	36,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	－	325	331	(331)	－
計	27,160	2,862	7,256	37,280	(331)	36,948
セグメント利益	1,550	188	102	1,841	(267)	1,574

（注）１．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△175百万円、棚卸資産の調整額△91百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,529	2,945	9,609	41,084	－	41,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	－	419	444	(444)	－
計	28,554	2,945	10,029	41,529	(444)	41,084
セグメント利益	1,920	257	351	2,528	(152)	2,375

（注）１．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△190百万円、棚卸資産の調整額37百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。